

第69回日本生物地理学会年次大会プログラム

会場：立教大学 14号館D201号室

市民シンポジウム：立教大学 タッカーホール

東京都豊島区西池袋3-34-1（JR池袋駅から東武側出口 or 地下道エチカ 歩7分）

大会第1日目 4月12日（土）

10:00-11:00 評議員会（評議員のみ） 理学部中庭13号館会議室1F

12:30 タッカーホールにて受付開始

総合司会：山田 一之（日本生物地理学会）

13:20-13:30 開会の挨拶

森中 定治（日本生物地理学会会長）

市民シンポジウム「次世代にどのような社会を贈るのか？」

主催 日本生物地理学会 共催 立教大学理学部

オーガナイザー：森中 定治，三中 信宏

司 会：三中 信宏（日本生物地理学会副会長）

13:30-13:50 趣旨説明

森中 定治（日本生物地理学会会長）

13:50-14:00 進行説明，講演者/コメンテーター/ゲストのご紹介 三中 信宏

14:00-14:40 講演1 対論！ 人類は原発をどうするのか？

小出 裕章（京都大学原子炉実験所）

14:40-15:20 講演2 対論！ 人類は原発をどうするのか？

森中 定治（綾瀬川を愛する会，NPO「トリウム熔融塩国際フォーラム」）

15:20-15:40 （休憩）

会場からの質問受付

15:40-16:00 講演者への質問（コメンテーター）

後藤 政志（原子力市民委員会委員，NPO APAST 理事長）

飯野 謙次（特定非営利活動法人 失敗学会副会長）

16:00-16:20 講演者への質問（ゲスト，時間の許す範囲で）

16:20-16:40 開場からの質問に返答

16:40-17:40 対論に対する印象（ゲスト，各5～8分）

秋本 真利（自由民主党衆議院議員）

小山 芳郎（ジャーナリスト，元NHKプロデューサー）

木下 幹康（東京大学，PTS）

鈴木 達治郎（原子力委員会委員長代理）

須永 昌博（（社）スウェーデン社会研究所所長）
山脇 直司（東京大学名誉教授，星槎大学学部長）
吉岡 律夫（NPO「トリウム熔融塩国際フォーラム」理事長）

17：40-17：50 対論に対する判定（コメンテーター，各5分）

後藤 政志（原子力市民委員会委員，NPO APAST 理事長）
飯野 謙次（特定非営利活動法人 失敗学会副会長）

17：50-18：00 クロージング

加藤 登紀子（歌手）

大会第2日目 4月13日(日)

一般発表

座長：山田 一之（日本生物地理学会）

9：30-10：00 インドネシア科学院(LIPI)生物科学研究センターでの野生動物の寄生虫相研究

浅川 満彦（酪農学園大・獣医学群 獣医学類 感染・病理学分野）

10：00-10：30 共生細菌ボルバキアが昆虫の生態、行動、進化に与える影響

陰山 大輔（(独)農業生物資源研究所）

座長：蒲生 康重（(財)進化生物学研究所）

10：30-11：00 メッシュ気候値を用いた日本海要素の分布解析

○佐藤 卓（富山県立新川みどり野高）・太田 道人（富山市科学博）

11：00-11：30 対馬沿岸海域における底質環境と底生動物出現様式の関係

木暮 陽一（水産総合研究センター日本海区水産研）

11：30-12：00 日本各地におけるカワネズミの腸管内寄生蠕虫相

○藤重 健・横畑 泰志（富山大院理工学）・阿部 永（小樽市）

12：00-13：00（昼食）

座長：尾形 比呂哉（東京大総合研究博）

13：00-13：30 マイクロサテライトDNA解析による沖縄県重要水産種タカサゴの遺伝的多様性と遺伝的集団構造

○賀数 大吾（琉球大院理工）・張 至維（台湾国立海洋生物博）・立原 一憲・今井 秀行（琉球大理）

13：30-14：00 白亜紀中期の大量絶滅事変後にみられる本邦イノセラムス科二枚貝類のLilliput effectについて

高橋 昭紀（早稲田大学理工学研究所）

14：00-14：30 ユビソヤナギの潜在的生育可能域推定による地史的分布変遷および種分化に関する一考察

○指村 奈穂子（東京大院農学生命科学）・池田 明彦（品川区役所公園課）・井出 雄二（東京大院農学生命科学）

14：30-15：00（休憩）

15 : 00-

シンポジウム

「系統地理学はどこに向かうのか？：生物地理から言語地理まで」

オーガナイザー：三中 信宏（（独）農業環境技術研究所／東京大院農学生命科学）

15 : 00-15 : 20 趣旨説明：進化研究における歴史地理学の諸方法：過去半世紀の系譜をたどる

三中 信宏（農環研，東京大院農学生命科学）

15 : 20-16 : 00 GISによる比較系統地理が持つ可能性：生物群集レベルでの分布変遷史の復元を例に

岩崎 貴也（東京大院総合文化研究科）

16 : 00-16 : 40 共生系の生物地理：コミカンソウ科植物と送粉者ハナホソガはどのように分布を広げたのか？

川北 篤（京都大生態学研究センター）

16 : 40-17 : 20 日本列島の言語系統地理学

Sean Lee（東京大院理学系研究科）

17 : 20-17 : 30 総合質疑

17 : 30-17 : 50 学会総会 司会：蒲生 康重

三中 信宏（農環研/東京大院農学生命科学），陰山 大輔（農業資源研・昆虫微生物），山田 一之（日本生物地理学会），蒲生 康重（進化生物学研）

17 : 50-

閉会の辞

山田 一之（日本生物地理学会）